

伊 勢 市 公 報

第 315 号
平成 30 年 12 月 20 日
木 曜 日

目 次

	頁
告 示	
○ 平成 30 年度上半期の伊勢市病院事業、水道事業及び下水道事業の業務の状況について	2
○ 平成 30 年度一般廃棄物処理実施計画の変更について	20
教育委員会告示	
○ 教育委員会会議の招集について	21
選挙管理委員会告示	
○ 永久選挙人名簿関係 ・ 選挙権を有する者の総数の 50 分の 1 の数、6 分の 1 の数及び 3 分の 1 の数について	22
農業委員会告示	
○ 農業委員会総会の招集について	23
上下水道事業告示	
○ 流域関連公共下水道の供用開始について	24
公 告	
○ 農用地利用集積計画について	25
○ 犬の抑留について	26
○ 公示送達	27
上下水道事業公告	
○ 公共下水道事業受益者負担金の平成 31 年度賦課対象区域について	29

伊勢市告示第 137 号

平成 30 年度上半期の伊勢市病院事業、水道事業及び下水道事業の
業務の状況について

地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号）第 40 条の 2 第 1 項の規定に
より、平成 30 年 4 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日までの伊勢市病院事業、
水道事業及び下水道事業の業務の状況を次のとおり公表します。

平成 30 年 12 月 3 日

伊勢市長 鈴木 健 一

平成 30 年度上半期伊勢市病院事業の業務状況

1. 事業の概況

(1) 業務状況

入院延患者数は、前年同期比 7.1%増の 37,972 人（29 年度上半期 35,443 人）、外来延患者数は、前年同期比（△）3.7%減の 62,984 人（29 年度上半期 65,375 人）、健診者数は前年同期比（△）0.7%減の 7,178 人（29 年度上半期 7,227 人）となりました。

(2) 収益的収支の状況（金額は消費税抜き）

総収益は 3,406,370 千円、総費用は 2,854,115 千円となり、当期純利益は 552,255 千円となりました。

収益の内訳は、医業収益 2,697,678 千円、健診収益 163,071 千円、医業外収益 545,621 千円（うち他会計負担金 469,591 千円）となっております。

費用の内訳は、医業費用 2,687,550 千円、健診費用 78,158 千円、医業外費用 88,407 千円となっております。

(3) 資本的収支の状況（金額は消費税込）

収入総額 821,080 千円、支出総額 5,212,113 千円の事業執行となりました。

収入の内訳は、負担金 185,560 千円、寄附金 5,300 千円、出資金 628,900 千円、投資償還金 1,320 千円となっております。

支出の内訳は、建設改良費 5,102,095 千円（資産購入費 68,015 千円、新病院建設事業費 5,020,350 千円、給与費 13,730 千円）、企業債償還金 81,698 千円、投資 28,320 千円となっております。

また、新病院建設事業では、平成 28 年 10 月より着手しておりました建設工事が本年 9 月に完成し、今後は平成 31 年 1 月開院に向け準備を進めてまいります。

以上が平成 30 年度上半期の概要であります。

2. 職員に関する事項

（単位：人）

年月日	医 師	医療技術 職 員	看 護 (准) 師	事務職員	その他の 職 員	嘱 託	計
30.9.30	49	78 (1)	213 (3)	35 (1)	7	86	468 (5)
30.3.31	46	71 (1)	203 (2)	32	7 (1)	79	438 (4)

* 医師数に事業管理者を含む。

* () は、外書きで再任用短時間勤務職員を表す。

3. 経理の状況

平成30年 4月 1日から

平成30年 9月30日まで

(1) 平成30年度伊勢市病院事業予算執行状況

(単位：円)

区 分	予 算 額 A	予算執行額 B	予 算 残 額	B/A%	備 考
(収益的収入)					
病院事業収益	7,288,505,000	3,425,095,200	3,863,409,800	47.0	
医業収益	5,380,330,000	2,702,120,889	2,678,209,111	50.2	
健診収益	327,944,000	176,137,026	151,806,974	53.7	
医業外収益	1,159,737,000	546,837,285	612,899,715	47.2	
特別利益	420,494,000	0	420,494,000	0.0	
(収益的支出)					
病院事業費用	8,501,049,000	2,891,281,039	5,609,767,961	34.0	
医業費用	6,357,454,000	2,723,005,815	3,634,448,185	42.8	
健診費用	169,851,000	79,805,246	90,045,754	47.0	
医業外費用	906,965,000	88,469,978	818,495,022	9.8	
特別損失	1,065,779,000	0	1,065,779,000	0.0	
予備費	1,000,000	0	1,000,000	0.0	
(資本的収入)					
資本的収入	10,671,353,000	821,080,000	9,850,273,000	7.7	
負担金	185,560,000	185,560,000	0	100.0	
企業債	7,537,600,000	0	7,537,600,000	0.0	
寄附金	13,000,000	5,300,000	7,700,000	40.8	
出資金	2,445,200,000	628,900,000	1,816,300,000	25.7	
国庫補助金	405,193,000	0	405,193,000	0.0	
基金繰入金	63,000,000	0	63,000,000	0.0	
投資償還金	1,800,000	1,320,000	480,000	73.3	
固定資産売却代金	20,000,000	0	20,000,000	0.0	
(資本的支出)					
資本的支出	10,966,297,000	5,212,113,009	5,754,183,991	47.5	
建設改良費	10,535,255,000	5,102,094,937	5,433,160,063	48.4	
企業債償還金	290,242,000	81,698,072	208,543,928	28.1	
投資	63,000,000	28,320,000	34,680,000	45.0	
基金積立金	77,800,000	0	77,800,000	0.0	

平成30年 4月 1日から
平成30年 9月30日まで

(2) 平成30年度伊勢市病院事業損益計算書

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院事業費用	2,854,115,294	病院事業収益	3,406,370,085
医業費用	2,687,550,041	医業収益	2,697,678,430
給与費	1,548,185,639	入院収益	1,745,711,952
材料費	575,795,356	外来収益	853,939,460
経費	425,206,495	他会計負担金	49,870,000
減価償却費	121,257,852	その他医業収益	48,157,018
資産減耗費	6,015,600	健診収益	163,071,269
研究研修費	11,089,099	健診収益	163,071,269
健診費用	78,158,032	医業外収益	545,620,386
給与費	51,159,502	他会計負担金	469,591,000
材料費	2,974,151	県補助金	2,000
経費	20,283,979	その他医業外収益	21,822,781
減価償却費	3,740,400	長期前受金戻入	54,204,605
医業外費用	88,407,221		
支払利息及び 企業債取扱諸費	19,290,407		
雑損失	46,939,554		
医業外雑費	22,177,260		
当期純利益	552,254,791		
合 計	3,406,370,085	合 計	3,406,370,085

平成30年 9月30日

(3) 平成30年度伊勢市病院事業貸借対照表

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	16,035,672,354	固定負債	7,904,405,318
有形固定資産	15,506,746,669	企業債	6,224,347,372
土地	1,669,274,868	建設改良等企業債	6,224,347,372
建物	5,383,027,338	引当金	1,680,057,946
構築物	322,622,541	退職給付引当金	1,680,057,946
器械備品	3,648,426,492	流動負債	4,729,830,537
車両	8,463,238	一時借入金	1,880,000,000
建設仮勘定	12,241,203,665	一時借入金	1,880,000,000
減価償却累計額	△7,766,271,473	未払金	2,746,957,169
無形固定資産	3,562,685	医業未払金	243,957,585
電話加入権	3,562,685	その他未払金	2,502,999,584
投資その他の資産	275,467,500	その他流動負債	20,808,469
長期貸付金	275,467,500	預り金	557,374
基金	249,895,500	預り保証金	1,470,320
基金	249,895,500	仮受消費税	18,780,775
流動資産	1,653,794,568	企業債	82,064,899
現金預金	223,638,886	建設改良等企業債	82,064,899
現金	585,000	繰延収益	1,703,237,391
預金	223,053,886	長期前受金	5,261,858,048
未収金	957,513,151	長期前受金収益化累計額	△3,558,620,657
医業未収金	957,513,151	資本金	3,108,618,431
貯蔵品	21,482,522	自己資本金	3,108,618,431
薬品	13,813,835	剰余金	△308,879,546
診療材料	5,235,244	資本剰余金	1,807,206,326
その他貯蔵品	2,433,443	受贈財産評価額	145,324,995
前払金	592,711	国庫補助金	46,876,000
前払金	592,711	他会計補助金	571,419,568
その他流動資産	460,391,155	工事負担金	53,395,358
仮払消費税	460,391,155	寄附金	111,606,500
貸倒引当金	△9,823,857	補助金	2,008,000
借 方		貸 方	

科 目	金 額
貸倒引当金	△9,823,857
合 計	17,689,466,922

科 目	金 額
他会計負担金	876,575,905
欠損金	△2,116,085,872
前年度未処理欠損金	△2,116,085,872
当期純利益	552,254,791
合 計	17,689,466,922

4. 平成 29 年度伊勢市病院事業決算の状況

市立伊勢総合病院は、二次救急医療を始めとする地域の中核病院として、市民の健康増進と生活の質の向上を目指し、地域医療の継続発展を図るとともに、公営企業としての効率性を高めるよう努めてまいりました。

本年度は、新病院建設事業として、平成 31 年 1 月開院を目指した建設工事、また、安全・安心で高度な医療を提供するため、内視鏡システムなどの整備を行いました。

利用状況につきましては、入院延患者数 71,501 人（1 日平均 196 人）、外来延患者数 127,646 人（1 日平均 523 人）、健診者数 14,992 人（1 日平均 52 人）となり、前年度と比較いたしますと、入院患者数で 2,376 人の増加、外来患者数で 444 人の増加、健診者数で 1,022 人増加いたしました。

財政収支の状況は、収益的収支におきまして、消費税を除き収入額 6,439,623,044 円、支出額 6,726,932,747 円の執行となり、287,309,703 円の純損失を生じ、医師及び看護師奨学金の返還債務の免除により発生した資本剰余金の処分数額 18,240,000 円を含め、当年度未処理欠損金は 2,116,085,872 円となりました。

一方、資本的収支においては、収入額 7,582,205,000 円、支出額 7,774,551,829 円の執行となり、192,346,829 円の収支不足となりましたが、損益勘定留保資金等で補填いたしました。

また、資本的収入において 2,440,000,000 円、資本的支出において 2,440,000,000 円を翌年度に繰り越しました。

今後、新病院建設に伴う企業債償還金、減価償却費の増加などにより、病院運営が厳しくなることが予測されますが、引き続き、医師確保に努めるとともに、医療体制の充実強化、質の高い医療の提供、地域医療の推進、健全な病院経営に取り組んでまいります。

平成30年度 上半期伊勢市水道事業の業務状況

1 事業の概要

今期の水道事業は、給水の安定及び有収率の向上を図り、効率的な維持管理を行うため、配水本管の更新工事のほか、配水本管の未整備地区への新規布設工事、下水道工事などに伴う配水本管布設替工事等を実施するとともに、管路等の耐震化を行いました。

また、現行の水道事業基本計画の策定から9年が経過し、平成30年度に目標年度を迎えることから、本市水道事業が現在抱える課題に対して、中長期的視点からの具体的な取組を示す「伊勢市水道事業ビジョン」の策定に向けて取り組んでいます。

事業運用面では、平成30年9月末現在、年間配水量は前年同期に比し1.8%の減少となり、有収水量におきましては0.6%の減少となりました。

財政収支の状況は、収益的収支におきまして、消費税を除き収入額1,321,277千円、支出額986,221千円の執行となり、335,056千円の純利益を生じました。

一方、資本的収支においては、収入額76,787千円、支出額1,656,567千円の執行となり、建設改良費繰越財源2,428千円を除くと、1,577,352千円の収支不足となりました。

現在策定中の「伊勢市水道事業ビジョン」における現状認識では、人口減少等による有収水量の減少が進行している状況下で、管路等の施設整備の更新需要が多く見込まれますが、企業債償還金等の諸経費や建設コストの増大等により、事業運営が厳しくなることが予測されます。

今後も独立採算制の堅持を第一目標とし、さらに、経費節減等を行い効率的で健全な事業の運営に努め、安心・安全な給水サービスの向上に取り組んでいきます。

2 給水状況

(1) 給水戸数と給水人口

区 分		H29. 9. 30	H30. 9. 30	増 減	前年比 (%)
上水道	給水戸数	56,464戸	56,619戸	155戸	100.3
	給水人口	127,255人	125,949人	△ 1,306人	99.0
簡易水道	給水戸数	58戸	58戸	0戸	100.0
	給水人口	88人	85人	△ 3人	96.6

(2) 給水収益(税込)

(単位 千円)

区 分	調 定 額	収 入 額	収 入 率 (%)
上水道	1,276,831	1,113,454	87.2
簡易水道	673	473	70.3

(3) 配水量と有収水量

(単位 m³)

区 分		H29.9.30	H30.9.30	増 減	前年比 (%)
上水道	配水量	8,317,007	8,167,331	△ 149,676	98.2
	有収水量	7,402,799	7,355,304	△ 47,495	99.4
	有収率 (%)	89.0	90.1	1.1	—
簡易水道	配水量	6,922	7,503	581	108.4
	有収水量	3,713	3,715	2	100.1
	有収率 (%)	53.6	49.5	△ 4.1	—

3 職員に関する事項

(単位 人)

区 分	職員	技能労務職員	嘱託職員	計
H30.3.31	(1)			(1)
	18	19	4	41
H30.9.30	(1)			(1)
	20	20	4	44

* ()は、外書きで再任用短時間勤務職員を表す。

4 経理の状況

(単位 円)

(1)平成30年度伊勢市水道事業予算執行状況		平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで		
区 分	予算額(A)	執行額(B)	予算残額	B/A %
(収益的収支)				
水道事業収益	2,804,985,000	1,417,696,734	1,387,288,266	50.5
営業収益	2,529,146,000	1,282,543,266	1,246,602,734	50.7
営業外収益	273,647,000	134,125,117	139,521,883	49.0
簡易水道収益	2,192,000	1,028,351	1,163,649	46.9
水道事業費用	2,483,488,000	1,127,124,092	1,356,363,908	45.4
営業費用	2,329,102,000	1,070,526,982	1,258,575,018	46.0
営業外費用	131,508,000	51,146,114	80,361,886	38.9
簡易水道費用	12,878,000	5,450,996	7,427,004	42.3
予備費	10,000,000	0	10,000,000	0.0
(資本的収支)				
資本的収入	653,877,000	76,787,412	577,089,588	11.7
企業債	364,400,000	0	364,400,000	0.0
負担金	247,677,000	76,787,412	170,889,588	31.0
出資金	41,800,000	0	41,800,000	0.0
資本的支出	2,874,604,000	1,656,567,427	1,218,036,573	57.6
建設改良費	2,331,899,000	1,281,032,545	1,050,866,455	54.9
投資	200,000,000	200,000,000	0	100.0
償還金	342,705,000	175,534,882	167,170,118	51.2

(単位 円)

(2)平成30年度伊勢市水道事業損益計算書		平成 30年 4月 1日 から 平成 30年 9月30日 まで	
		借 方	貸 方
水道事業費用	986,220,654	水道事業収益	1,321,276,738
営業費用	930,029,712	営業収益	1,187,693,667
原水費	357,652,292	給水収益	1,182,329,668
配水及び給水費	98,159,591	受託工事収益	932,000
受託工事費	4,567,749	その他営業収益	4,431,999
総係費	71,058,080	営業外収益	132,604,509
減価償却費	398,592,000	受取利息及び配当金	448,767
営業外費用	50,949,746	長期前受金戻入	112,764,000
支払利息及び 企業債取扱諸費	47,446,607	雑収益	979,742
雑支出	3,503,139	加入金	18,412,000
簡易水道費用	5,241,196	簡易水道収益	978,562
簡易水道費	5,241,196	給水収益	623,562
当期純利益	335,056,084	長期前受金戻入	355,000
合計	1,321,276,738	合計	1,321,276,738

(単位 円)

(3)平成30年度伊勢市水道事業貸借対照表		平成30年9月30日	
借 方		貸 方	
固 定 資 産	23,575,528,192	固 定 負 債	5,208,968,568
有 形 固 定 資 産	23,269,365,278	企 業 債	4,797,164,270
土 地	1,371,363,094	建設改良等企業債	4,797,164,270
建 物	773,516,564	引 当 金	411,804,298
減価償却累計額	△ 485,839,141	退職給付引当金	342,423,298
構 築 物	34,209,146,740	特別修繕引当金	69,381,000
減価償却累計額	△ 14,211,828,780	流 動 負 債	311,642,052
機 械 及 び 装 置	3,189,069,283	企 業 債	164,790,001
減価償却累計額	△ 2,344,695,672	建設改良等企業債	164,790,001
車 両 運 搬 具	58,010,256	未 払 金	48,972,505
減価償却累計額	△ 36,833,142	貯蔵品購入未払金	59,476
工具、器具及び備品	68,472,236	営 業 未 払 金	48,913,029
減価償却累計額	△ 45,290,362	預 り 金	1,087,470
建設仮勘定	724,274,202	預 り 金	1,087,470
無 形 固 定 資 産	106,162,914	そ の 他 流 動 負 債	96,792,076
施 設 利 用 権	78,547,166	仮受消費税及び地方消費税	96,792,076
ソ フ ト ウ ェ ア	27,615,748	繰 延 収 益	5,225,184,855
投資その他の資産	200,000,000	長 期 前 受 金	10,808,442,574
投資有価証券	200,000,000	長 期 前 受 金	10,808,442,574
流 動 資 産	2,668,178,148	長期前受金収益化累計額	△ 5,583,257,719
現 金 預 金	2,150,673,545	長期前受金収益化累計額	△ 5,583,257,719
現 金	60,000	資 本 金	14,179,823,345
預 金	2,150,613,545	自 己 資 本 金	14,179,823,345
未 収 金	321,377,091	固 有 資 本 金	33,622,511
営 業 未 収 金	287,365,199	繰 入 資 本 金	1,455,870,100
営 業 外 未 収 金	2,280,410	組 入 資 本 金	12,690,330,734
そ の 他 未 収 金	31,731,482	剰 余 金	983,031,436
貸 倒 引 当 金	△ 66,385,811	資 本 剰 余 金	23,129,245
貸 倒 引 当 金	△ 66,385,811	受 贈 財 産 評 価 額	23,129,245
貯 蔵 品	31,319,943	利 益 剰 余 金	959,902,191
原 材 料	31,319,943	建設改良積立金	455,231,926
前 払 金	173,564,880	減 債 積 立 金	23,000,000
工 事 前 払 金	156,548,000	そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額	481,670,265
そ の 他 前 払 金	17,016,880	当 期 純 利 益	335,056,084
そ の 他 流 動 資 産	57,628,500		
仮払消費税及び地方消費税	57,628,500		
合 計	26,243,706,340	合 計	26,243,706,340

5 平成29年度決算の状況

本年度の水道事業は、給水の安定及び有収率の向上を図り、効率的な維持管理を行うため、老朽化した施設及び配水本管の更新工事のほか、配水本管の未整備地区への新規布設工事、下水道工事などに伴う配水本管布設替工事等を実施するとともに、管路等の耐震化を行いました。

また、現行の水道事業基本計画の策定から9年が経過し、平成30年度に目標年度を迎えることから、本市水道事業が現在抱える課題に対して、中長期的視点からの具体的な取組を示す「伊勢市水道事業ビジョン」の策定に着手しました。

(1) 業務量について

給水戸数は56,530戸で前年度より301戸増加し、有収率は88.7%で前年度に比し0.8ポイントの減少となりました。また、年間配水量は16,537,905 m^3 で前年度に比し0.01%の減少となり、有収水量は14,665,527 m^3 で前年度に比し0.1%の減少となりました。

(2) 財政収支について

財政収支の状況は、収益的収支におきまして、消費税を除き収入額2,677,138,354円、支出額2,198,906,428円の執行となり、478,231,926円の純利益を生じ、積立金の目的使用により発生した481,670,265円の利益剰余金を含め、当年度末処分利益剰余金959,902,191円となりました。

一方、資本的収支においては、収入額718,663,079円、支出額2,055,538,864円の執行となり、建設改良費繰越財源2,428,000円を除くと、1,339,303,785円の収支不足となりましたが、損益勘定留保資金、建設改良積立金等で補填しました。

また、資本的収支の収入において158,960,000円、支出において604,247,000円を翌年度に繰り越しました。

(3) 建設改良事業及び整備状況について

前年度着工した五十鈴川水源地送水管更新及び配水本管布設工事が完成しました。本年度に施行した主な施設整備としては、床ノ木水源地更新工事の完成と浦口配水池関連工事に着手しました。

床ノ木水源地更新工事の主な施行目的は、耐塩素性病原生物クリプトスポリジウム等による水質汚染の懸念に対応した水源地の建設と、将来的に下村水源地を廃止し矢持簡易水道における浄水施設を一つに統合することです。

浦口配水池関連工事の主な施行目的は、浦口地区に標高の高い箇所が一部存在し、水圧不足と安定給水に支障が生じることから、配水池を設置することで水圧不足の解消を図るものです。本年度から造成工事、貯水槽設置工事を施行し、平成31年度に完成予定です。

平成30年度 上半期伊勢市下水道事業の業務状況

1 事業の概要

今期の下水道事業は、汚水処理事業として流域関連公共下水道の第4期事業認可区域の下水管渠の幹線及び面整備工事等を行い、公共用水域の水質保全や住環境の改善のため普及率の向上に努めています。流域関連公共下水道については、平成30年9月末で1,600haの地域において供用が開始されており、伊勢市全体の下水道普及率は、52.8%となっています。

雨水対策事業としては、雨水管理総合計画及びストックマネジメント計画の策定、吹上ポンプ場他3施設の長寿命化工事を進めています。

財政収支の状況は、収益的収支におきまして、消費税を除き収入額1,763,145千円、支出額1,405,879千円の執行となり、357,266千円の純利益を生じました。

一方、資本的収支におきましては、収入163,797千円、支出1,341,049千円となり、1,177,252千円の収支不足となりました。

今後につきましても、計画的な施設の整備を実施するとともに、供用及び稼動区域においては適性な維持管理に努めていきます。

2 下水道普及率

(平成30年9月30日現在)

	行政区域内人口 (A)	処理区域内人口 (B)	普及率 (B/A)
計	126,799	66,913	52.8%

3 職員に関する事項

(単位 人)

区分	職員	技能労務職員	嘱託職員	計
H30.3.31	(1) 27	5	5	(1) 37
H30.9.30	(1) 28	5	5	(1) 38

* ()は、外書きで再任用短時間勤務職員を表す。

4 経理の状況

(単位 円)

(1)平成30年度伊勢市下水道事業予算執行状況		平成 30 年 4 月 1 日 から 平成 30 年 9 月 30 日 まで		
区 分	予算額(A)	執行額(B)	予算残額	B/A (%)
(収益的収支)				
下水道事業収益	3,759,731,000	1,803,059,250	1,956,671,750	48.0
営業収益	1,391,299,000	668,918,447	722,380,553	48.1
営業外収益	2,368,432,000	1,134,140,803	1,234,291,197	47.9
下水道事業費用	3,473,615,000	1,423,211,345	2,050,403,655	41.0
営業費用	2,908,013,000	1,185,536,101	1,722,476,899	40.8
営業外費用	555,602,000	237,675,244	317,926,756	42.8
予備費	10,000,000	0	10,000,000	0.0
(資本的収支)				
資本的収入	4,860,286,000	163,796,600	4,696,489,400	3.4
企業債	3,058,400,000	0	3,058,400,000	0.0
負担金	275,286,000	163,796,600	111,489,400	59.5
国庫補助金	1,526,600,000	0	1,526,600,000	0.0
資本的支出	6,590,792,000	1,341,048,924	5,249,743,076	20.3
建設改良費	5,197,556,000	770,856,970	4,426,699,030	14.8
企業債償還金	1,391,686,000	570,040,654	821,645,346	41.0
受益者負担金返還金	550,000	0	550,000	0.0
諸支出金	1,000,000	151,300	848,700	15.1

(単位 円)

(2)平成30年度伊勢市下水道事業損益計算書		平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	
		借 方	貸 方
下水道事業費用	1,405,879,407	下水道事業収益	1,763,145,282
営業費用	1,168,375,361	営業収益	629,011,958
汚水管渠費	20,193,907	下水道使用料	498,997,958
雨水管渠費	1,341,438	他会計負担金	130,000,000
流域下水道 維持管理負担金	165,247,224	その他営業収益	14,000
ポンプ場費	633,398	営業外収益	1,134,133,324
処理場費	20,953,379	受取利息及び配当金	152,876
普及促進費	19,184,987	他会計負担金	402,000,000
業務費	33,685,057	他会計補助金	282,000,000
総係費	25,807,928	長期前受金戻入	449,509,869
汚水減価償却費	653,863,908	雑収益	470,579
雨水減価償却費	227,464,135		
営業外費用	237,504,046		
支払利息及び 企業債取扱諸費	235,359,722		
雑支出	2,144,324		
当期純利益	357,265,875		
合計	1,763,145,282	合計	1,763,145,282

(単位 円)

(3)平成30年度伊勢市下水道事業貸借対照表		平成30年9月30日	
借 方		貸 方	
固 定 資 産	66,025,591,451	固 定 負 債	31,063,864,162
汚 水 有 形 固 定 資 産	47,380,143,606	企 業 債	30,918,389,866
土 地	367,041,007	建 設 改 良 等 企 業 債	30,918,389,866
立 木	3,119,863	引 当 金	145,474,296
建 物	1,148,687,505	退 職 給 付 引 当 金	145,474,296
減 価 償 却 累 計 額	△ 495,055,202	流 動 負 債	860,035,115
構 築 物	53,862,966,014	企 業 債	791,373,943
減 価 償 却 累 計 額	△ 10,053,750,768	建 設 改 良 等 企 業 債	791,373,943
機 械 及 び 装 置	3,055,760,542	未 払 金	27,710,566
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,118,881,335	そ の 他 未 払 金	27,710,566
車 両 運 搬 具	6,373,441	預 り 金	1,036,638
減 価 償 却 累 計 額	△ 5,569,718	預 り 金	1,036,638
工 具、器 具 及 び 備 品	32,897,762	そ の 他 流 動 負 債	39,913,968
減 価 償 却 累 計 額	△ 25,408,470	仮 受 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	39,913,968
建 設 仮 勘 定	1,601,962,965	繰 延 収 益	27,444,148,852
雨 水 有 形 固 定 資 産	11,041,860,332	長 期 前 受 金	37,239,185,103
土 地	1,026,091,801	長 期 前 受 金	37,239,185,103
建 物	2,707,985,717	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△ 9,795,036,251
減 価 償 却 累 計 額	△ 659,174,737	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△ 9,795,036,251
構 築 物	6,483,056,570	資 本 金	6,866,025,475
減 価 償 却 累 計 額	△ 1,482,395,147	自 己 資 本 金	6,866,025,475
機 械 及 び 装 置	4,865,360,298	固 有 資 本 金	5,302,967,247
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,231,846,490	組 入 資 本 金	1,563,058,228
工 具、器 具 及 び 備 品	3,771,849	剰 余 金	1,288,261,846
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,576,533	資 本 剰 余 金	765,922,908
建 設 仮 勘 定	331,587,004	受 贈 財 産 評 価 額	137,659,520
汚 水 無 形 固 定 資 産	7,603,587,513	他 会 計 負 担 金	282,198,153
流 域 下 水 道 施 設 利 用 権	7,563,421,983	周 辺 環 境 整 備 事 業 負 担 金	53,565,180
電 話 加 入 権	75,000	補 助 金	216,649,080
ソ フ ト ウ ェ ア	40,090,530	そ の 他 資 本 剰 余 金	75,850,975
流 動 資 産	1,854,009,874	利 益 剰 余 金	522,338,938
現 金 預 金	1,303,667,297	当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	522,338,938
現 金	100,000	当 期 純 利 益	357,265,875
預 金	1,303,567,297		
未 収 金	246,301,728		
営 業 未 収 金	205,839,662		
営 業 外 未 収 金	533,946		
そ の 他 未 収 金	39,928,120		

貸倒引当金	△ 17,659,658		
貸倒引当金	△ 17,659,658		
前払金	256,623,000		
工事前払金	252,623,000		
その他前払金	4,000,000		
その他流動資産	65,077,507		
仮払消費税及び地方消費税	65,077,507		
合計	67,879,601,325	合計	67,879,601,325

5 平成29年度決算の状況

本市の下水道事業は、生活環境の改善や河川等公共用水域の水質保全を図るための汚水処理事業並びに雨水の排除による浸水の防除を行う雨水対策事業を計画的に実施してまいりました。

(1) 業務量及び普及状況について

業務量は、有収水量6,441,582 m^3 、処理水量6,382,714 m^3 となり、前年度に比しそれぞれ、171,502 m^3 、342,373 m^3 増加しました。また、普及状況については、処理区域面積は1,730.3ha、処理区域内人口は66,429人で前年度に比しそれぞれ、42.0ha、1,073人増加し、普及率は52.3%になりました。一方、水洗化人口は54,157人で前年度に比し1,581人増加し、水洗化率は81.5%となりました。

(2) 財政収支について

財政収支の状況は、収益的収支においては、消費税を除き収入額3,499,770,315円、支出額3,250,324,435円の執行となり、249,445,880円の純利益を生じ、積立金の目的使用により発生した272,893,058円の利益剰余金を含め、当年度未処分利益剰余金522,338,938円となりました。

一方、資本的収支においては、収入額3,162,424,632円、支出額4,549,928,288円の執行となり、建設改良費繰越財源21,529,098円を除くと、1,409,032,754円の収支不足となりましたが、繰越工事資金、損益勘定留保資金等で補填しました。

また、資本的収支の収入において1,558,800,000円、支出において1,733,981,000円を翌年度に繰り越しました。

(3) 建設改良事業及び整備状況について

下水道の整備については、流域関連公共下水道事業の第3期事業及び第4期事業にかかる汚水幹線築造及び管渠の面整備等を実施することにより処理区域の拡大を図るとともに、浸水対策等下水道施設の整備を進めました。

汚水整備事業としては、流域関連公共下水道区域において下水管渠を16,574mとマンホールポンプを7箇所整備しました。また、宇治・中村特定環境保全公共下水道区域においては、マンホールポンプを1箇所更新し、五十鈴川中村浄化センター施設の長寿命化計画に基づき更新設計を行いました。汚水管渠布設延長は、合計で424,218mとなりました。

雨水整備事業としては、都市部の浸水被害を防ぐため雨水管理総合計画の策定を進めるとともに、ポンプ場の長寿命化・耐震化を図るため吹上、明神、桜橋第1、茶屋ポンプ場施設の更新設計を行いました。

伊勢市告示第 138 号

平成 30 年度一般廃棄物処理実施計画を変更しましたので、伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例（平成 17 年伊勢市条例第 129 号）第 6 条第 2 項の規定により、次のとおり告示します。

平成 30 年 12 月 11 日

伊勢市長 鈴木 健 一

「次」は省略し、その関係書類を伊勢市環境生活部清掃課に備え置いて縦覧に供します。

伊勢市教育委員会告示第 16 号

伊勢市教育委員会会議を次のとおり招集します。

平成 30 年 12 月 14 日

伊勢市教育委員会
教育長 北 村 陽

記

- 1 日 時 平成 30 年 12 月 20 日（木）午後 7 時 30 分
- 2 場 所 伊勢市教育委員会（小俣総合支所）2 階 第 1 ・ 2 会議室
- 3 会議に付する事件

議案第 54 号 伊勢市社会教育委員の辞任の承認及び補欠委員の委嘱について

伊勢市選挙管理委員会告示第 49 号

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）の規定による直接請求、市町村の合併の特例等に関する法律（平成 16 年法律第 59 号）の規定による合併協議会設置の請求及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）の規定による解職請求に必要な選挙権を有する者の数は、次のとおりです。

平成 30 年 12 月 3 日

伊勢市選挙管理委員会

委員長 竜田 節夫

記

- 1 地方自治法第 74 条第 1 項及び同法第 75 条第 1 項並びに市町村の合併の特例等に関する法律第 4 条第 1 項及び同法第 5 条第 1 項に規定する選挙権を有する者の総数の 50 分の 1 の数

2,147 人

- 2 市町村の合併の特例等に関する法律第 4 条第 11 項、同法第 5 条第 15 項及び同法第 61 条第 11 項に規定する選挙権を有する者の総数の 6 分の 1 の数

17,891 人

- 3 地方自治法第 76 条第 1 項、同法第 80 条第 1 項、同法第 81 条第 1 項及び同法第 86 条第 1 項並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 8 条第 1 項に規定する選挙権を有する者の総数の 3 分の 1 の数

35,781 人

(参考) 永久選挙人名簿登録者総数 107,341 人

伊勢市農業委員会告示第 13 号

伊勢市農業委員会第 156 回総会を次のとおり招集します。

平成 30 年 12 月 7 日

伊勢市農業委員会

会長 早川 繁一

- 1 招集の日時 平成 30 年 12 月 14 日（金）午後 3 時 30 分
- 2 招集の場所 伊勢市役所 御園総合支所 2 - 4 会議室
- 3 付議すべき事項
 - 議案第 1 号 農地法第 3 条の規定による許可申請について
 - 議案第 2 号 農地法第 4 条の規定による許可申請について
 - 議案第 3 号 農地法第 5 条の規定による許可申請について
 - 議案第 4 号 伊勢市農用地利用集積計画について(農林水産課提案)

伊勢市上下水道事業告示第 27 号

流域関連公共下水道の供用を開始するので、下水道法(昭和 33 年法律第 79 号)第 9 条の規定に基づき、次のとおり告示します。

その関係図面は、平成 30 年 12 月 14 日から 2 週間、伊勢市上下水道部下水道施設管理課窓口にて備え置いて、一般の縦覧に供します。

平成 30 年 12 月 13 日

伊勢市長 鈴木 健 一

- 1 供用(下水の処理)を開始する年月日
平成 31 年 1 月 1 日
- 2 供用(下水の処理)を開始する区域
小俣町新村の一部
- 3 供用を開始する排水施設の位置
縦覧に供する関係図面において表示します。
- 4 当該公共下水道が接続する流域下水道の終末処理場の位置及び名称
位置 伊勢市大湊町 1126 番地
名称 宮川浄化センター
- 5 供用を開始する排水施設の合流式又は分流式の別
分流式

伊勢市公告第 102 号

農業経営基盤強化促進法（昭和 55 年法律第 65 号）第 18 条第 1 項の規定により、次のように農用地利用集積計画を定めましたので、同法第 19 条の規定により公告します。

平成 30 年 12 月 3 日

伊勢市長 鈴木 健 一

「次」は省略し、その関係書類を伊勢市産業観光部農林水産課に備え置いて縦覧に供します。

伊勢市公告第103号

犬の抑留について

次の犬を狂犬病予防法（昭和25年法律第247号）第6条第1項の規定により抑留した旨の通知が三重県伊勢保健所長からありましたので、同条第8項の規定により公告します。

平成30年12月3日

伊勢市長 鈴木 健 一

1 抑留した犬

番号	捕獲した場所	種類	毛色	性別	体格	年齢	その他
1	川端町	キャバ リア雑	茶	雄	中	91日 以上	

2 抑留した日 平成30年11月26日

3 抑留期限 平成30年12月5日

4 連絡先

伊勢市環境生活部環境課（電話 0596-21-5541）

伊勢保健所 衛生指導課（電話 0596-27-5151）

伊勢市公告第 104 号

公 示 送 達

下記の者の平成 30 年度固定資産税・都市計画税納税通知書は、住所、居所等が不明のため送達することができないので、地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）第 20 条の 2 の規定により公示送達します。

なお、当該書類は、総務部課税課に保管してありますから、来庁の上、受領してください。

平成 30 年 12 月 7 日

伊勢市長 鈴木 健 一

記

公示送達を受けるべき者の氏名又は名称

整理番号	納税通知書番号	納 税 義 務 者 名
1	省略	省略
2	省略	省略
3	省略	省略
4	省略	省略
5	省略	省略
6	省略	省略
7	省略	省略
8	省略	省略
9	省略	省略
10	省略	省略

11	省略	省略
12	省略	省略
13	省略	省略
14	省略	省略
15	省略	省略
16	省略	省略
17	省略	省略
18	省略	省略
19	省略	省略
20	省略	省略
21	省略	省略
22	省略	省略
23	省略	省略
24	省略	省略
25	省略	省略
26	省略	省略
27	省略	省略

伊勢市上下水道事業公告第3号

伊勢市公共下水道事業受益者負担に関する条例(平成17年伊勢市条例第177号)第5条の規定により、次のとおり公共下水道事業受益者負担金の平成31年度賦課対象区域を定めたので公告します。

平成30年12月14日

伊勢市長 鈴木 健 一

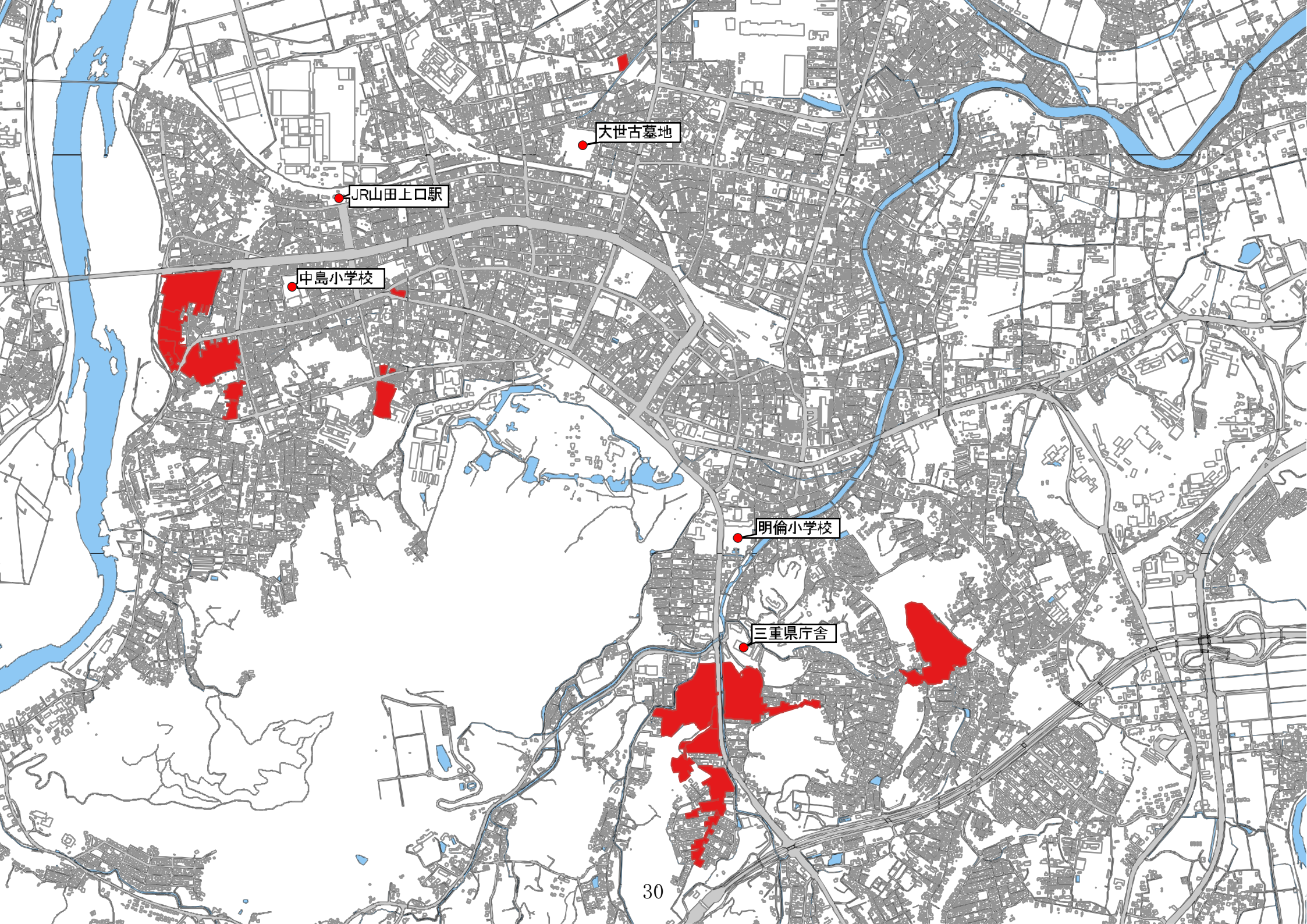
平成31年度賦課対象区域

1 いせ第3負担区

常磐2丁目、常磐3丁目、一之木4丁目の各一部

2 いせ第4負担区

辻久留1丁目、中島2丁目、勢田町、藤里町の各一部



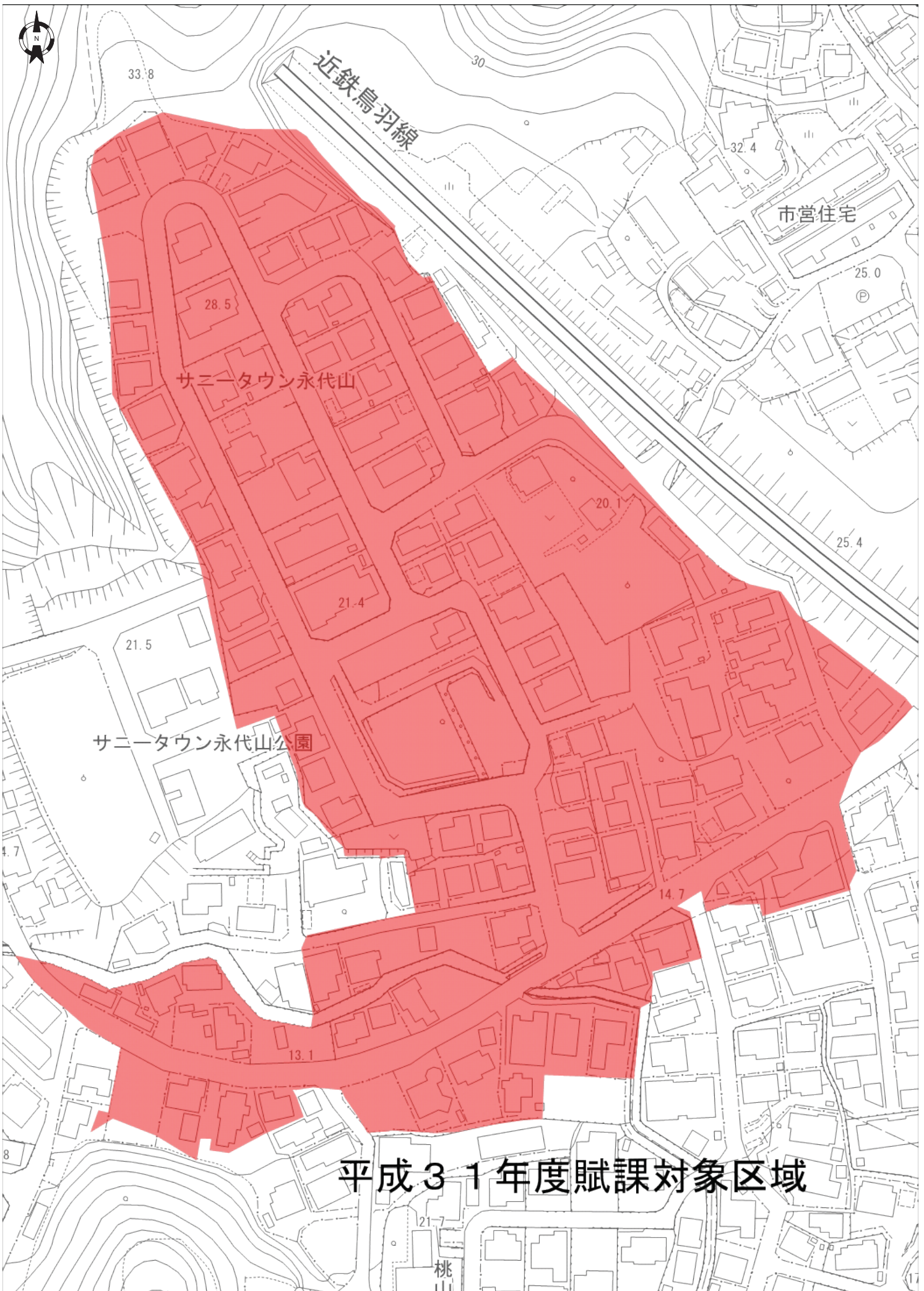
大世古墓地

JR山田上口駅

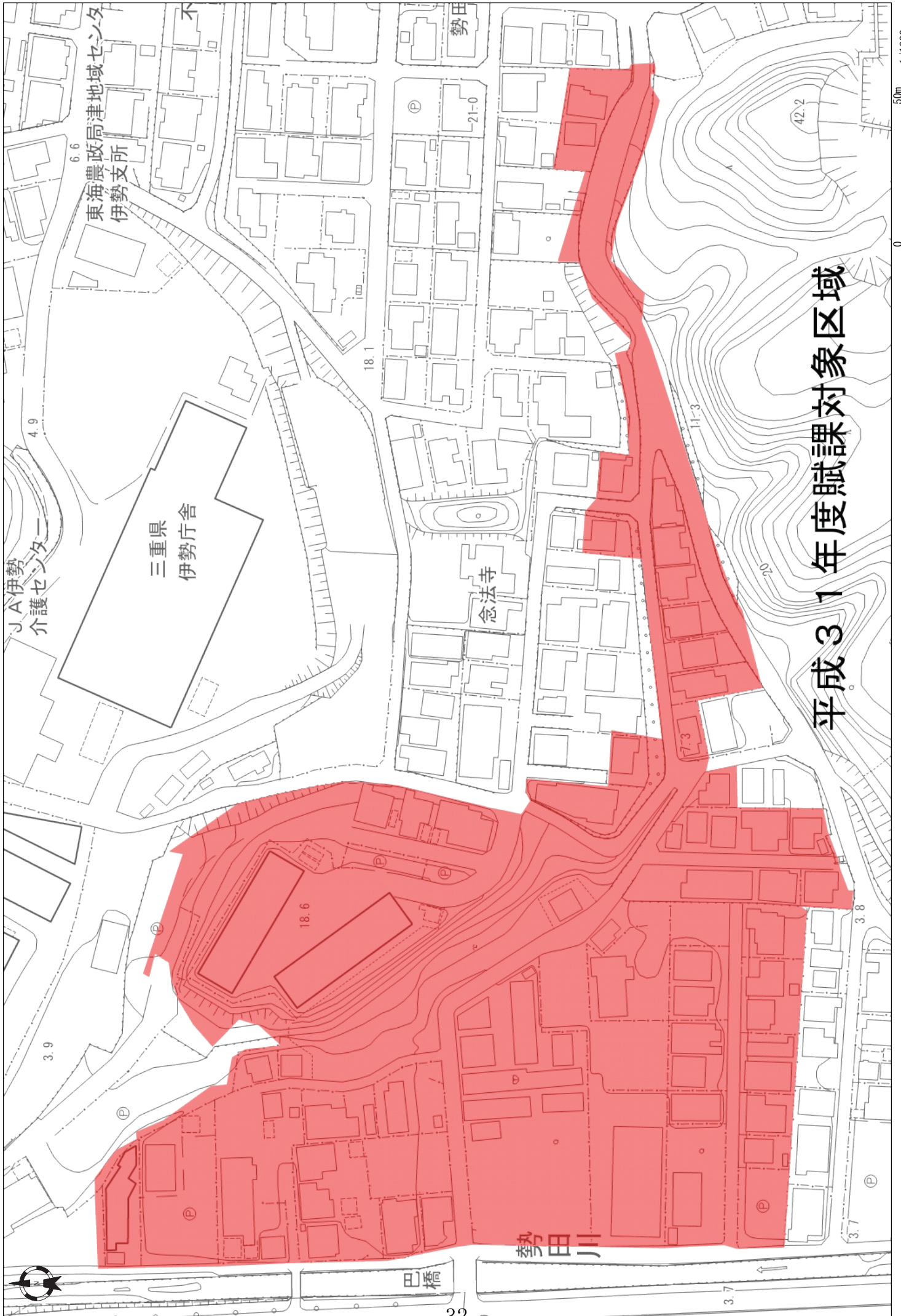
中島小学校

明倫小学校

三重県庁舎



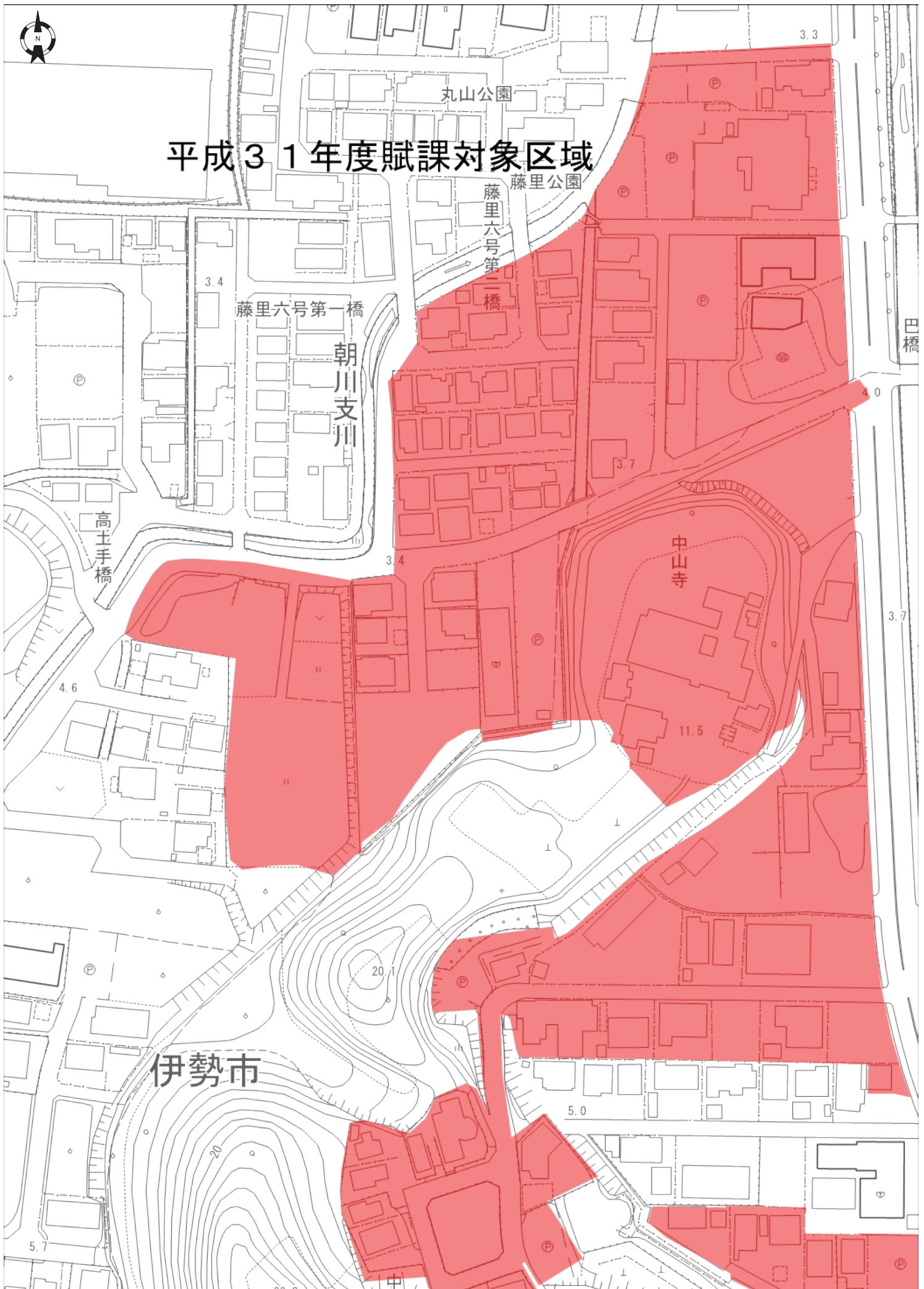
平成31年度賦課対象区域

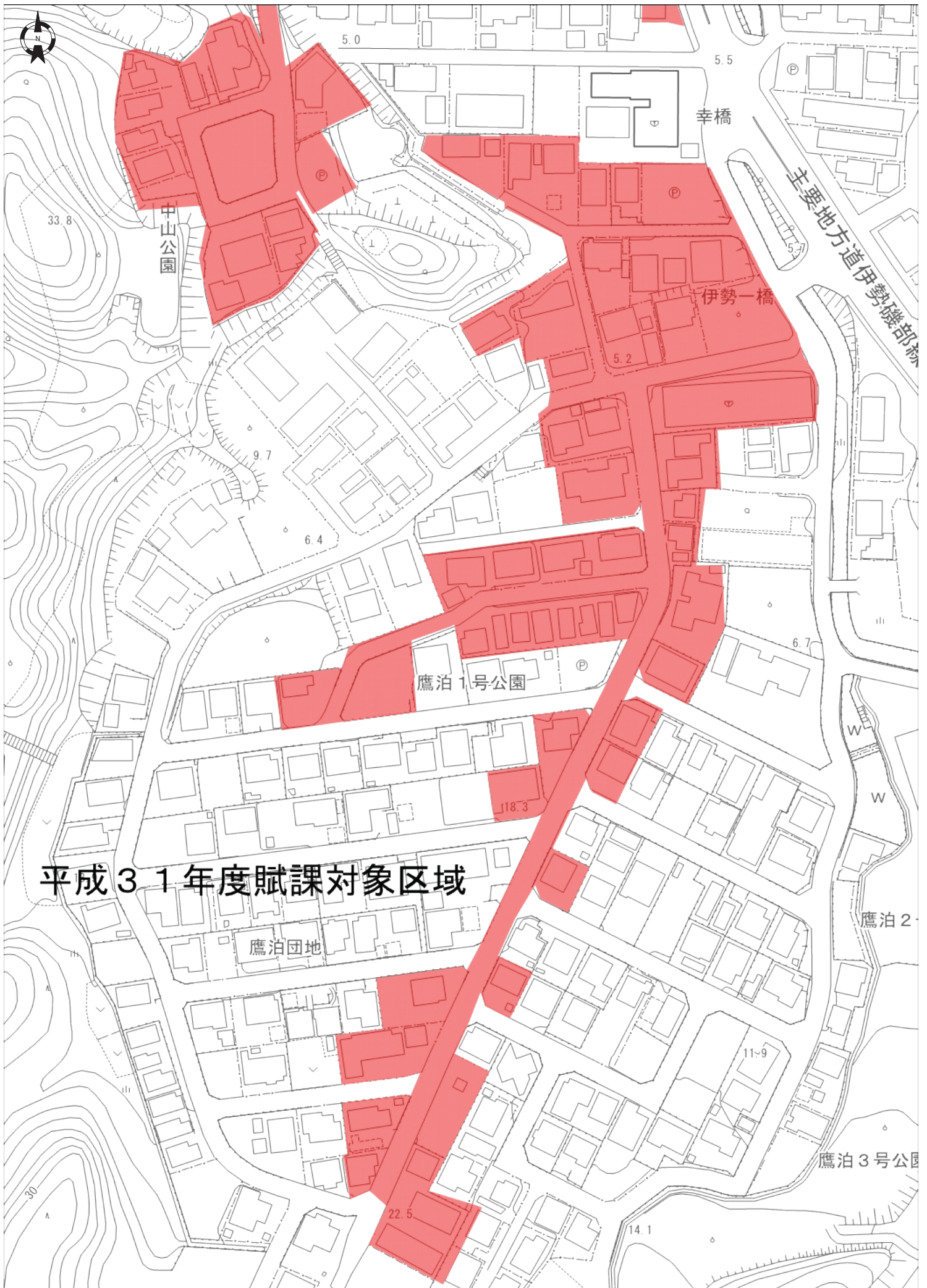


平成31年度賦課対象区域



平成31年度賦課対象区域





平成31年度賦課対象区域

中山公園

幸橋

伊勢一橋

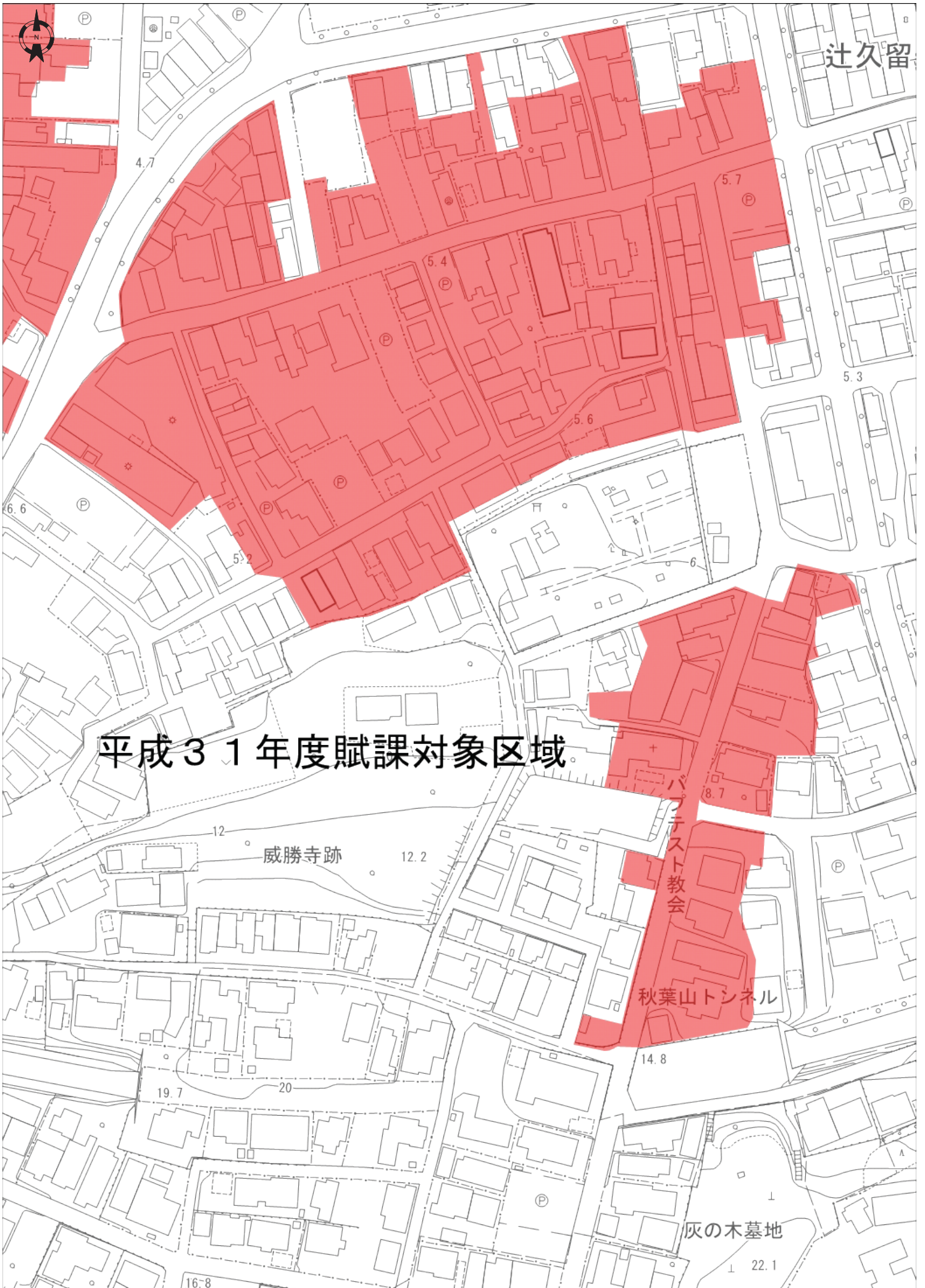
鷹泊1号公園

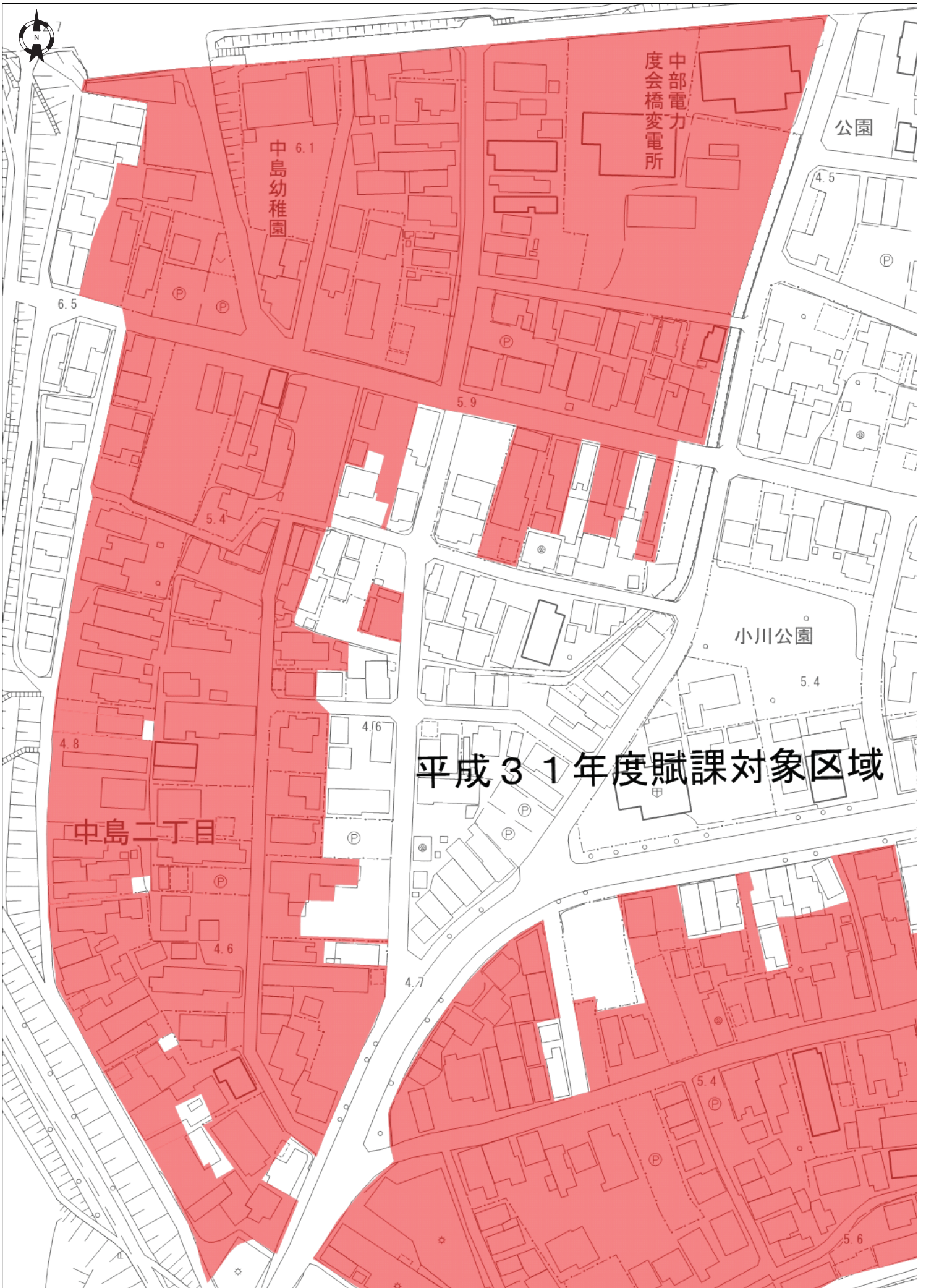
鷹泊団地

鷹泊2

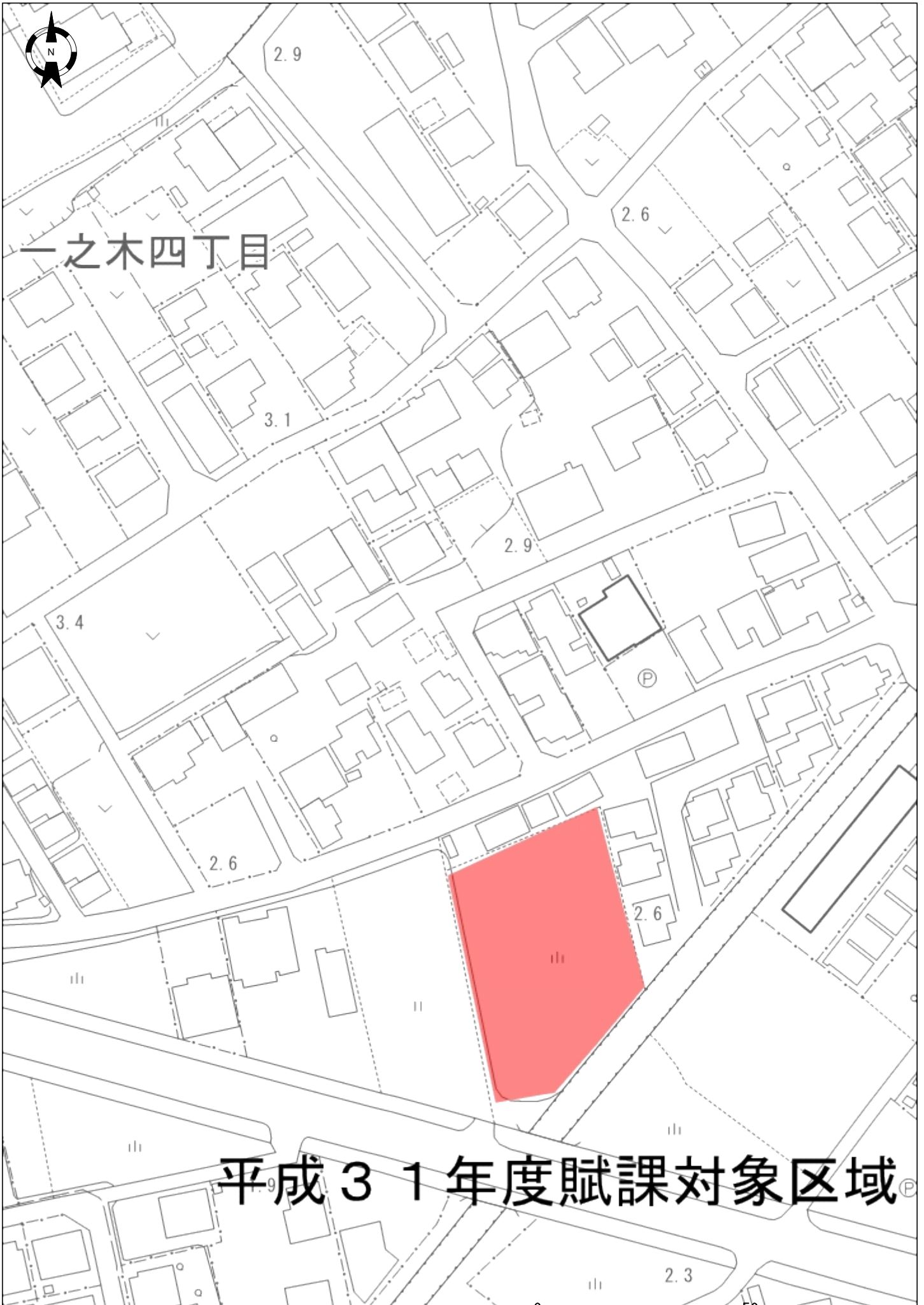
鷹泊3号公園

主要地方道伊勢磯部線



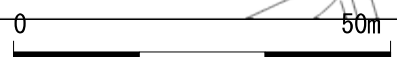


平成31年度賦課対象区域



一之木四丁目

平成31年度賦課対象区域



1/1000



平成31年度賦課対象区域

